

令和4年4月14日
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 直通：257-6972

令和4年度病害虫発生予報第1号について

今後発生が予想される水稲、麦類、大豆、果樹、野菜の病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 4月下旬～5月中旬

2 予報内容

(1)水 稲

イネミズゾウムシの発生は**やや多**と予想される。箱施薬していない圃場では、1株当たりの成虫数が0.3頭以上認められたら直ちに防除する。

(2)麦 類

大麦赤かび病の発生は**並**と予想される。出穂前後に汚降雨は発生を助長するので、出穂期の3～5日後とその7～10日後の2回防除を実施する。

(3)大 豆

ネキリムシ類・タネバエの発生は**やや多**と予想される。は種時の防除を徹底する。

(4)果 樹

かき炭疽病の発生は**多**と予想される。孢子飛散は4月下旬からと予想される。発病が新梢に認められた場合は直ちに防除する。

ハダニ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性害虫の発生を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

(5)野 菜・花 き

すいか褐斑細菌病の発生は**やや多**と予想される。トンネル除去時の防除を徹底する。

アブラムシ類・コナガの発生は**やや多**と予想される。早期発見に努め、発生を認めた場合は防除を実施する。

ネキリムシ類の発生は**やや多**と予想される。は種時又は定植時の防除を徹底する。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。
また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。